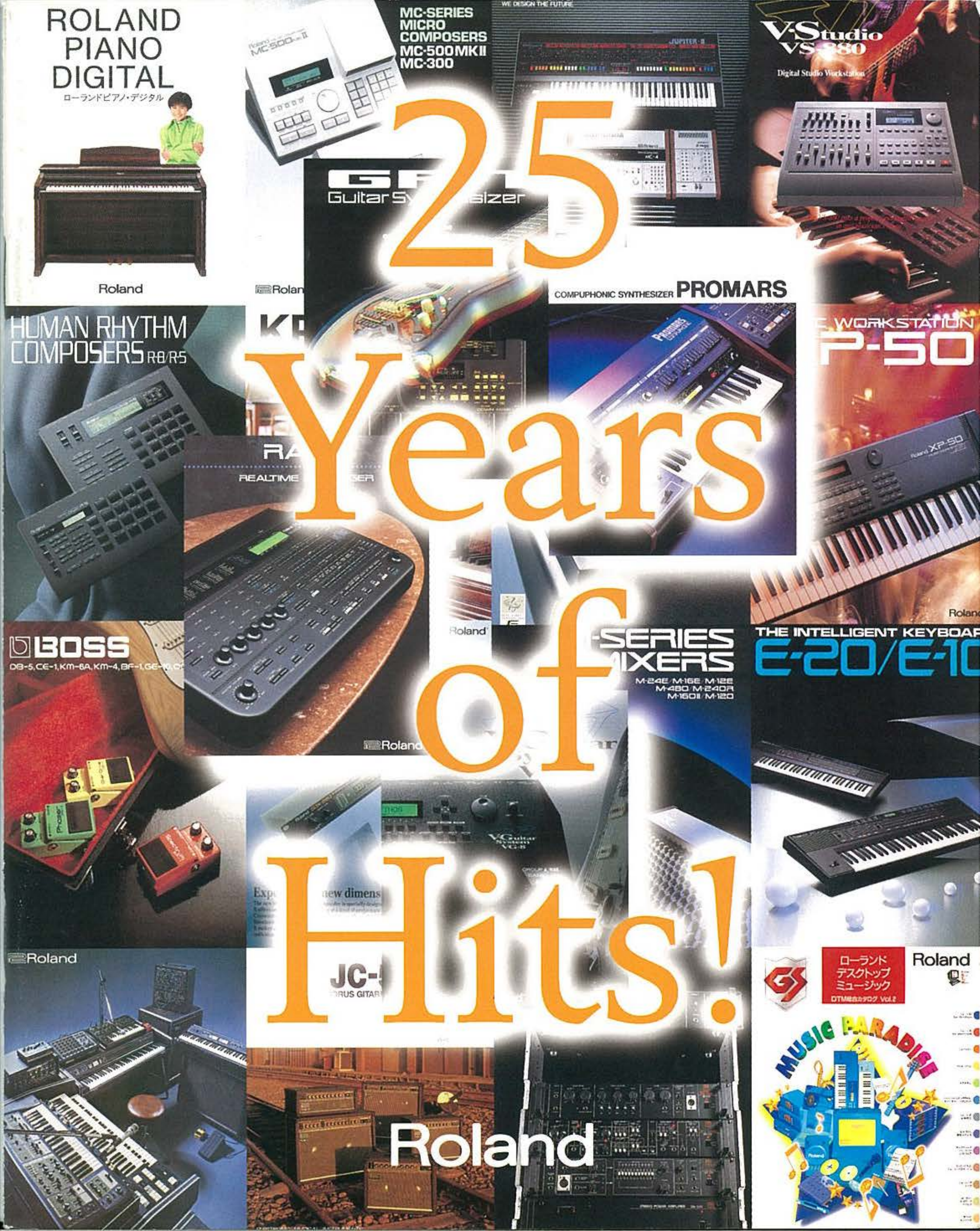


25 Years of Hits!
Roland
ROLAND PIANO DIGITAL
ローランドピアノ・デジタル
Roland
MC-SERIES MICRO COMPOSERS MC-500MKII MC-300
WE DESIGN THE FUTURE
JUPITER-8
V-Studio VS-880
Digital Studio Workstation
Guitar Synthesizer
COMPUPHONIC SYNTHESIZER PROMARS
HUMAN RHYTHM COMPOSERS R8/R5
WORKSTATION
XP-50
REALTIME
Roland
BOSS
-SERIES MIXERS
M-24E M-16E M-12E M-480 M-240R M-160II M-120
THE INTELLIGENT KEYBOAR
E-20/E-10
V-Guitar System VG-8
JC-
Roland
ローランド デスクトップ ミュージック
DTM総合カタログ Vol.2
MUSIC PARADISE

Analog Synthesizers/Electric
Organs/Pianos/Intelligent
Arrangers/Guitar
Amplifiers/BOSS Compact
Effects/Digital Synthesizers
/Keyboards/Signal
Processors/Multitimbral
Sound Modules/Rhythm
Composers/Digital
Synthesizers/Electric
Organs/Pianos/Intelligent
Arrangers/Guitar
Amplifiers/BOSS Compact
Effects/Guitar Amplifiers
V Series/Instruments/
Keyboards/Signal
Processors/Rhythm
Composers/V Series/Analog
Synthesizers/Electric
Organs/Pianos/Intelligent
Arrangers/Guitar
Amplifiers/BOSS Compact
Effects/Guitar Amplifiers/
Digital Synthesizers
V Series/Keyboards/Signal
Processors/Multitimbral
Sound Modules/Rhythm
Composers/Analog
Synthesizers/Electric
Organs/Pianos/Intelligent
Arrangers/Analog
Synthesizers/Guitar
Amplifiers/Analog
Synthesizers/Electric
Organs/Pianos/Intelligent
Arrangers/Guitar
Amplifiers/BOSS Compact
Effects/Digital Synthesizers
/Keyboards/Signal

この冊子には、製造完了となり、現在では販売していない商品がいくつか掲載されております。ご了承ください。

25th Anniversary

ローランドは25年の歴史を通して、最先端の技術により「革新的」「世界初」「日本初」と形容される数々の電子楽器を発表。

世界中に新しい音楽の楽しみ方を提案し、音楽愛好家の方々に愛されてまいりました。

この冊子は、25年間のヒット商品のアンソロジーであるとともに、創立25周年という大きな節目を迎えたいま、無限にひろがる音楽の可能性に挑戦する新たな出発点でもあります。

どんなに技術が進歩しても、最高の音づくりから感動を生み出すローランドの姿勢は、これからも決して変わることはありません。

ローランドはこれからも、積極的に技術開発を行ない、ベストな商品により、創造の喜びを世界に広め、共感を呼ぶ企業として歩み続けてまいります。

Roland

Synthesizers

1973年、国産初のシンセサイザー SH-1000を発表。音楽シーンをリードした、ローランドのシンセサイザーのヒストリーはここに始まった。ローランドをシンセサイザーのトップ・ブランドとして世界に認知させた最高級ポリフォニック・シンセJupiter-8。爆発的なヒットとなったデジタル・シンセ D-50。そして、今、最新技術の粋を集めたJP-8000によって、ローランドはシンセサイザーの原点を見つめ直そうとしている。

JP–8000

1996

シンセサイザー本来の自由度と表現力を、最新のデジタル技術で再現するアナログ・モデリング音源搭載の最新鋭モデル。

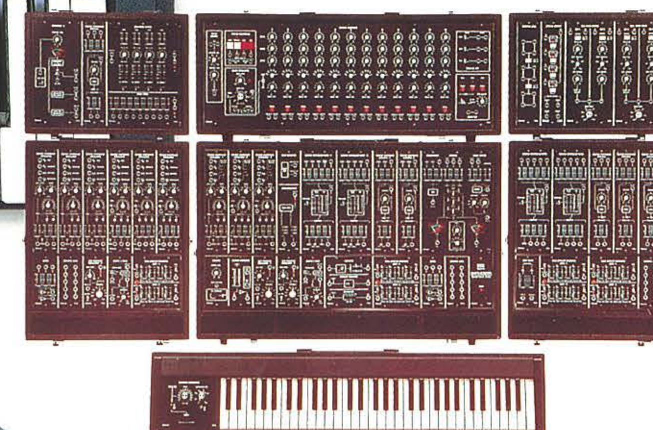




SH-1000

1973

国産初のシンセサイザー。プリセットされた楽器音や効果音とともに、優れたコントロール機能により、自在な音創りを可能にした。



System-700

1976

NHKやBBCにも納入された国産初の本格的なシステム・シンセサイザー。

Jupiter–8

1981

最高級8ボイス・ポリフォニック・シンセ。ローランドの名を世界中に浸透させた。



Rhythm Composers & Drum Machines



TR-55

TR-33/55/77　1972

ローランド第1号製品。アナログ回路を使用した音源を搭載し、プリセットされた1、2小節のリズム・パターンを繰り返し演奏するだけのシンプルな機器であった。



CR-78　1978

世界で初めてマイクロ・コンピュータを採用。アクセントの変化や小節単位のパターンのプログラムを可能にした「コンピュリズム」。



DR-55　1979

初のステップ・ライト方式のリズム・マシン。幅広いプレイヤーに人気の高いBOSSのドクター・リズム・シリーズの記念すべき1号機。



TR-808　1980

1曲分のリズム・パターンをつくれる世界初のプログラマブル・リズム・マシン。現在も数多くの楽曲でこのサウンドが聞かれる。

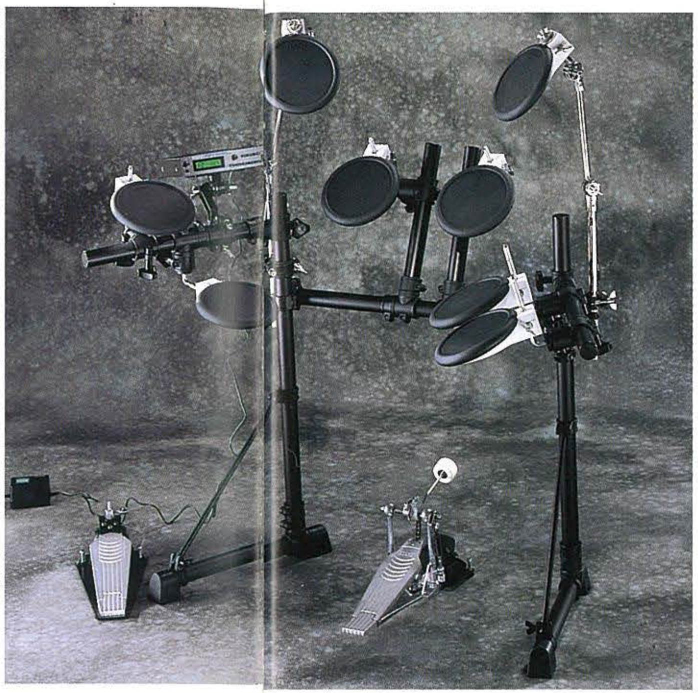


R-8　1988

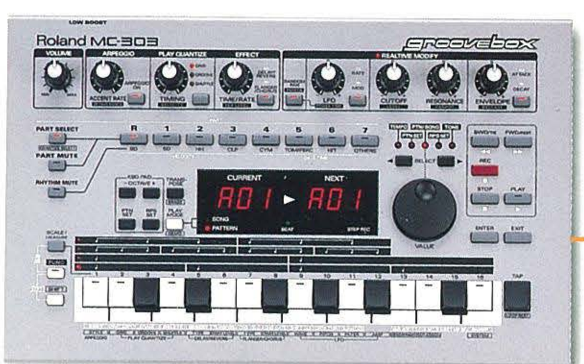
ドラマーが叩く音に限りなく近いリアルなサウンドと、人間的なノリのある自然なリズムを創りだすことができる、ヒューマン・リズム・コンポーザー。リズム・コンポーザーとして頂点を極めた機種。

コンパクト・ドラム・システム　1992

それまでのデジタル・ドラムの概念を覆す画期的なモデル。リム・ショット、チョーク奏法などドラマーのテクニックやフィーリングをリアルに再現するドラム・システム。



25年前、ローランドが最初に世に送り出した製品はリズム・マシンTR-33/55/77であった。その後、画期的な機能を備えて登場した「コンピュリズム」CR-78、一般ユーザーにリズム・マシンを普及させたBOSS DR-55、いまやビンテージ・リズム・マシンの代名詞となったTR-808へと、ローランドのリズム・コンポーザー開発の歴史は受け継がれていく。やがて、よりリアルなサウンドや、よりヒューマンな演奏表現を可能にするPCM音源の台頭へと続いてゆく。そして、音源モジュールTD-7を中心としたコンパクト・ドラム・システムを発表、それまでの電子ドラムの課題であった限りなく生ドラムに近い演奏表現を可能にし、新たな分野を切り拓いた。時代の流れがどのように変わろうと、ローランドは常にプレイヤーの求めるサウンドを提供しつづける。



MC-303　1996

手軽にダンス・ミュージックを制作できる音源内蔵シーケンサー。テクノ・ファンを中心に大ブレイクしている。

Electronic Organs

美しいハーモニーと豊かなサウンドで聴く人の心を揺さぶるオルガン。
世界のオルガン演奏家たちに弾く喜びと最高のパフォーマンスを約束する楽器を
提供し続けること――創業以来、ローランドが守り続けたこの姿勢は、
「ミュージック・アトリエ」、「ロジャース・オルガン」の中に今も生き続けている。
電子オルガンは、ローランドの「原点」といってもいいだろう。



VK–7 1997

コンボ・オルガンの新機軸。バーチャル・トーン・ホイール音源、高度なハーモニック・バー、高品質ロータリー・エフェクトなどを搭載。



ミュージック・アトリエ
AT–80 1997

伝統あるオルガン・サウンドを受け継ぎながら、76鍵の下（ロワー鍵盤）、高い操作性など、多彩な機能を備えた「ホーム・オルガン」。AT-90、70、50、30も合わせてシリーズ展開している。

VK–9 1977

４組のドローバー・セットを搭載した本格的な61鍵コンボ・オルガン。オルガニストから高い支持を得た。



VK–1 1979

ハイ・エンド・モデルの高度な特徴をコンパクトに実現。



Roland Pianos

美しい音、自然なタッチ、洗練されたデザイン。
ピアノとしての高いクオリティを備え、
さらに、デジタルならではの機能で豊かな表現が可能な、ローランドのデジタル・ピアノ。
「ピアノを愛する全ての方に心から演奏を楽しんでいただくこと」をテーマに、ローランド ピアノ・デジタルの楽しさ、可能性はこれからも大きく広がっていく。





EP–10 1973

ローランドのピアノの原点。コンボ・タイプの純電子発振式ピアノ。

EP–30 1974

世界初のタッチ・センス付き電子ピアノ。3年以上続くロング・セラーとなった。



HP–70 1981

コンパクトなホーム・ピアノ、「ピアノ・プラス70」。オスカー・ピーターソンのCMも話題になった。



HP–7700 1992

ハイ・グレード・グランド・スタイル電子ピアノ。デジタル・ピアノの既成概念を覆えした。



KR–570 1996

大型LCD、3.5インチフロッピー・ディスク・ドライブ、自動伴奏機能を装備し、ピアノ演奏の新しい楽しさ、可能性を提案するデジタル・ピアノ。



1995 **MT-80S**

ミュージックデータとのアンサンブル演奏により、アコースティック楽器のレッスンをいちだんと楽しく、効率的にするアンプとスピーカー内蔵の再生専用ミュージック・プレーヤー。

Samplers

ローランドのサンプラー１号機S-50、そのデビューは1986年。徹底した音質重視思想、先進のデジタル技術を結集したハイ・クォリティ・サンプリング・キーボードとして、世界のトップ・プロに愛用された。
以来、プロ・ユース・モジュールS-770や、リーズナブル・モデルMS-1など、送り出したモデルは、キーボード・プレイヤー、スタジオ・エンジニアからクラブDJに至るまで、幅広い分野で活躍している。



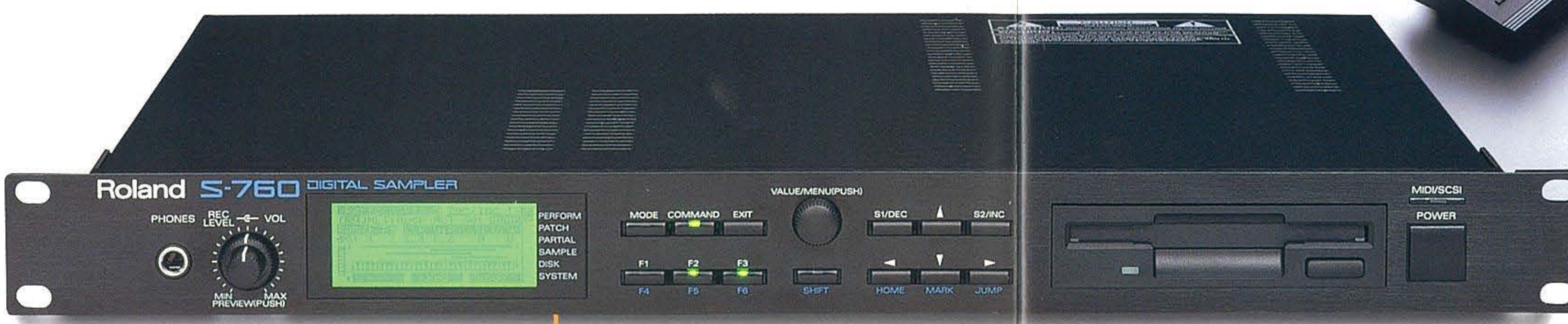
S-770 1989

48kHz、16ビット・リニア・フォーマットによる超高音質設計。ハード・ディスク内蔵の最高級スタジオ・ユース。



S-50 1986

プロ用サンプリング・キーボードのスタンダード・モデルとして、世界中のライブ・ステージで活躍。



S-760 1993

プロ機S-770の音質や機能を継承、手頃な価格で実現した現行モデル。幅広い制作分野で使用されている。



MS-1 1994

クラブDJにも大人気。音質はもちろん、使いやすさ、手軽さも好評。サンプラーの世界を大きく広げたモデル。

Amplifiers

様々な表情を持つ楽器であるエレクトリック・ギターと一体となり、プレイヤーの感情表現をより豊かに再現する、それがギター・アンプ。
JCシリーズの「ジャズ・コーラス」の響きが発売以来20数年の長きに亘って、世界中のギター・プレイヤーの基準となった理由もここにある。



KC−500/300 1996

クリーンなサウンドとフラットな周波数特性を誇るキーボード・アンプ。実用度の高いコントロールと入出力構成で、ステージ、スタジオ用途に幅広く対応。簡易PAにも最適。



1996 GC−405X

小型ながらダイナミックなスタック・サウンドで聴く人を魅了する小型ハイ・パワー・アンプの最新モデル。

BC−60 1995

名器と呼ばれる数々のギター・アンプの特性の徹底解析・研究から生まれた、独自のアナログ電子技術Tube Logic Technologyを搭載した画期的ギター・アンプ、「ブルース・キューブ」。





JC−120 1975

ギター・アンプ史上まれにみるロングセラー・モデル。透明感のあるクリーンな音質と重厚で拡がりのあるコーラス効果は、今なお世界中のトップ・ギタリストから絶賛を浴びている。



Cube 40 1978

コンパクト・ボディからは想像のできない音圧と伸びのあるオーバードライブ・サウンドで、小型ハイ・パワー・アンプの新しいスタイルを確立。

BOSS

1976年に発売されたCE-1「コーラス・アンサンブル」は、その独特なステレオ・コーラス効果でBOSSをギター・エフェクターのトップ・ブランドに押し上げた。その後、コンパクト・シリーズを中心にBOSSのエフェクターはアマチュアからプロに至るまで、多くのギタリストやキーボード・プレイヤー達の間で圧倒的な支持を得ている。最新のデジタル技術を駆使したマルチ・エフェクターが機能の向上で凌ぎを削る現在にあって、なお、BOSSの基本姿勢は変わらない。プレイヤーの感性を湧きたてるような熱い音を提供すること。この基本のもと、BOSSはさらなる製品開発を続けている。



GT–5 1996

歴代のギター・アンプの名器を再現するプリアンプ部にアナログ回路のディストーション、ハイ・クオリティな空間系エフェクツ、さらにヒューマナイザー、アコースティック・シミュレーターなど斬新な機能を搭載したフット・タイプ・マルチ・エフェクターの最高峰。



CE–1 1976

記念すべきBOSSブランド第1号モデル。この大きなグレーのコーラス・ペダルは、名器のひとつとして今も語り継がれている。





MT–2 1991

1991年発売以来、ヒットを続けている「メタル・ゾーン」。新開発のデュアル・ゲイン回路を搭載して、パワフルさは抜群。大型アンプのフル・ドライブを思わせる中低域の迫力と超ロング・サステインを誇る。



ME–5 1988

最も使用頻度の高い9種類のギター・エフェクトを組み合わせたマルチ・エフェクター。便利さとコスト・パフォーマンスの高さで大人気商品となった。

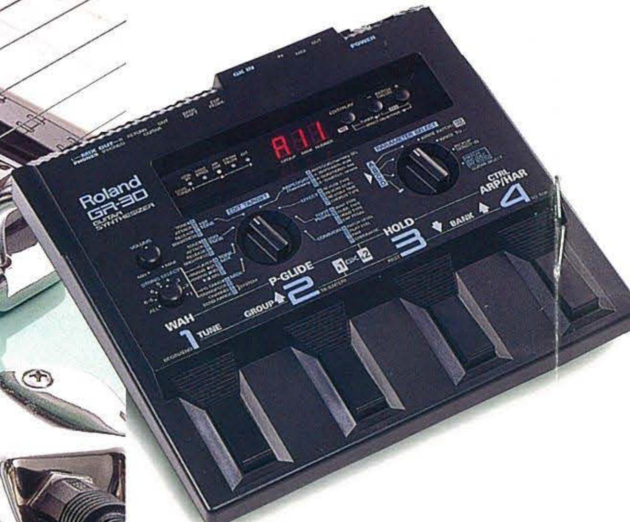
1977 OD–1, SP–1, PH–1

BOSSの代名詞と言えばコンパクト・シリーズ。そのコンパクト・シリーズの第1号となったのが、OD-1（オーバードライブ）、SP-1（スペクトラム）、PH-1（フェイザー）の3機種だった。以降、登場した新製品は、数々のベストセラーを生み、長く世界中で愛用されている。



Guitar Synthesizers





GR-30 **1996**

このモデルの登場で、ギター・シンセサイザーはあらゆるギタリストにとって求めやすく、手軽に弾ける楽器になった。



GR-500 **1977**

「シンセサイザーは鍵盤で演奏するもの」というそれまでの概念を打ち破った世界初のギター・シンセサイザー。



ギター本来の表現力と奏法を生かしながら新たな表現力の世界へ。ローランドが世界で最初のギター・シンセサイザーGR−500を発表したのは、1977年のことだった。単にサウンドのバリエーションや複雑な機能ばかりを追い求めるのではなく、トラッキング・スピードの高速化により、ギター・プレイヤーの微妙なピッキング・ニュアンスをシンセサイザー音源で忠実に再現すること。それが、常に変わらぬローランドの開発思想の原点である。

VG-8 **1995**

ローランド独自のCOSMサウンド・モデリングが、ずば抜けた表現力をギターにもたらした「V・ギター・システム」。ギター・プレイの新たなる進化の1ページを拓いた。





GR-700 **1984**

初のMIDI対応、メモリー機能搭載、2DCOによる多彩な音づくりが行える
ギター・シンセサイザー。

DTM

**楽器になじみが無くても、音楽の詳しい知識が無くても作曲してみたい──
そんな夢をかなえるのがDTM（デスクトップ・ミュージック）。
パソコンを使って手軽に音楽を制作する── そんな世界の扉を開いたのが
1988年に発売された「ミュージくん」。それから10年、コンピュータの進歩と
ともにシンセサイザーも進化し、
今や1,117種類もの高品位な音色を
駆使したアンサンブル演奏を楽しむ
ことができるようになった。
また、CPUのさらなる高速化は、
パソコン自体にシンセサイザーの機能
を持たせる「ソフトウェ
ア・シンセサイザー」
を誕生させた。**



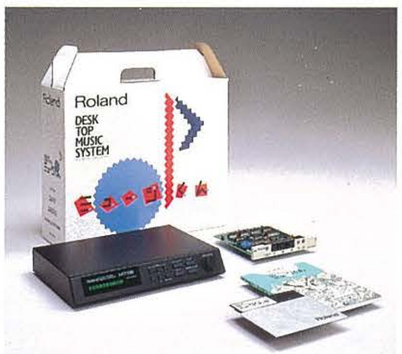
ミュージくん 1988

DTMを楽しむために必要な音源やソフトウェア、MIDIインターフェイスなどをワンパッケージにした初めての製品。ここからDTMの歴史が始まった。



MPU-401 1983

世界初のパソコン用インテリジェントMIDIインターフェイス。MPU-401の登場によってパソコンと電子楽器が急速に接近した。





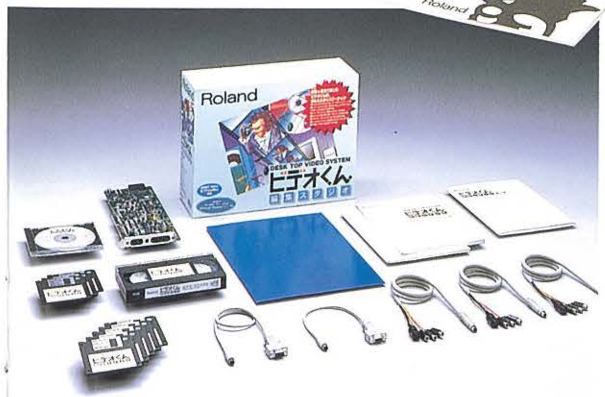
ミュージ郎
SC-88Pro 1996

1,117音色を内蔵した最新音源SC-88Proをパッケージ。32トラックを使った本格的な作曲から通信カラオケまで幅広く楽しめる。



Vミュージくん 1996

パソコンにシンセサイザーの機能を持たせるGSソフトウェア・シンセサイザーVSC-55をパッケージした、最も手軽にDTMを体験できるパッケージ。



1994 ビデオくん

パソコンを使って、プロの編集スタジオでしかできなかったような、高度な編集がご家庭で手軽にできるシステム。



JV-2080 1997

「究極のシンセサイザー」の名にふさわしい強力拡張音源。最大8枚ものエクスパンション・ボードを装着可能。



1996 XP-80

高速レスポンス、抜群のリアルタイム操作性、無限の音色拡張性を高次元で融合した画期的なミュージック・ワークステーション。



JV-80 1992

ウェーブ・メモリーの拡張性、8本のスライダーで多機能を自在にあやつる操作性など、高度な特徴を備えた本格派シンセサイザー。





E-20 1988

自動伴奏機能付きポータブル・キーボード。ヨーロッパのクラブ・ミュージシャンの間で特に評価の高かった商品。

Digital Synthesizers

1987年、ローランド初のデジタル・シンセサイザーD-50が衝撃的なデビューを飾る。アナログ・ライクな暖かみのある音創りが可能なシンセ音源と、PCMを使用したリアルな音源のハイブリッド構成で、強力なDSPエフェクトを内蔵した全く新しい音源方式、LA(Linear Arithmetic)。このLA方式のシンセサイザーは、爆発的なヒット商品となった。その後、D-10、D-20、D-5といった姉妹機を次々に発表。Dシリーズのトータル生産台数は30万台を突破した。

JV-1080



音楽創造の可能性を拡げるローランド独自の「エクスパンション・コンセプト」。

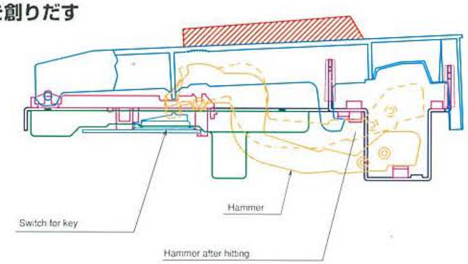


D-50 1987

LA方式を採用したローランド初のフル・デジタル・シンセ。そのサウンドは世界中のミュージシャンの絶大な支持を得た。

Professional Pianos

指のタッチで繊細な弦の響きを創りだすピアノ。その豊かな表現力を電子楽器で再現するために、ローランドは長年の研究を重ね、ついに電子ピアノのための専用音源技術、SA(Structured Adaptive)方式を開発した。さらに、プレイヤーの微妙な抑揚表現までを正確に伝達するハンマー・アクション鍵盤の開発により、ローランドの電子ピアノはその完成度を高めた。





RD-1000 1986

SA音源を採用した初のモデル。かのエルトン・ジョンをはじめとする、大勢のビッグネームに愛用された。



1997 RD-600

RD-500の機能とウエーブをより強化、タッチ・レスポンスに一層の改良を加え、より高い表現力を備えた最新モデル。

RD-500 1994

ハンマー・アクション鍵盤、スプリット・モード、充実のMIDIコントロール機能を装備した究極のステージ・ピアノ。





1991 FP-8

ハンマー・アクション鍵盤対応第1号モデル。ステージ映えするデザインとカラーも好評を得た。

Music Sequencers

1977年は、ローランドの技術開発史上において記念すべき年となった。初のマイクロ・コンポーザーMC-8の発表である。シンセサイザーの登場により、従来の楽器では想像しえなかった音創りが可能になったが、演奏自体は、常にプレイヤーの技術に頼らざるをえなかった。しかし、外部からシンセサイザーを演奏させるための情報を記憶し、送信するこのマイクロ・コンポーザーMC-8の出現は、音楽制作の可能性を更に大きく拡げた。

MC−8 1977

デジタルCPU搭載の世界初のシーケンサー。人間技ではとうてい不可能とも思える高速のフレーズさえも寸分の狂いもなく再現。イマジネーション通りの音楽制作・演奏を可能にした画期的なモデル。





1981 MC−4

操作性を向上したMC-8の後継機種。

1984 MSQ−700

音楽業界に大きな変化をもたらした世界初のMIDIシーケンサー。



1991 SB−55

ローランド初のSMF対応シーケンサー。プレイ中にデータをディスクからロードする機能を搭載。



MC−50mkII 1992

3.5インチフロッピー・ディスク・ドライブをはじめとする本格的な機能を搭載したハイ・エンドMIDIシーケンサー。長年に亘って、標準モデルとして君臨。



MRC-Pro(XP-80に搭載) 1996

グルーブ・クォンタイズ、ループ・レコーディングなど最大限に機能を充実させたシーケンサーの新基準。



Signal Processors

今もその名をとどめる空間系エフェクトの逸品、RE-201。
この画期的な商品により、ローランドはシグナル・プロセッサー開発の第一歩を踏み出した。
その後、SRVシリーズ、SDEシリーズ、さらに最新のローランド・サウンド・スペース
RSSに至るまで、ローランドは、常に技術革新の歴史をリードしている。
RSSに代表されるローランドのシグナル・プロセッシング技術は、今や、映画、放送局、
ポスト・プロダクションなどの制作現場のスタンダードとなった。



SX–700 1996

RSS三次元効果を含む5つの空間系エフェクト・プロセッサーを内蔵して、多彩な空間表現が可能になった。レコーディング・スタジオの要求を満たすBOSSブランド・シグナル・プロセッサーの決定版。



RE–201 1974

「スペース・エコー」の名前で長くプロの間で親しまれた製品。空間系エフェクトの先駆けとなった。



SDD–320 1979

独自の空間表現で多くのミュージシャンを魅了した「ディメンションD」。今も名器のひとつとして根強い人気を保っている。



RSS–10 1995

RSSテクノロジーを１Uサイズに凝縮したスタジオ標準機。



ローランド・サウンド・スペース RSS 1990

通常のステレオ装置を使って三次元立体音場を再生するローランド独自の革新技術。



SDE–2000 1981

ローランド初のデジタル・ディレイ。

SRV–2000 1985

高機能を実現したデジタル・リバーブの名機。



Roland Sound Space

Multimbral Sound Modules

かつて、MIDIを駆使した音楽制作や演奏には、パート数に合わせた数の楽器やシーケンサーを接続した複雑なセットアップが必要とされた。よりコンパクトで、複雑なケーブル接続やシステム設定が要らない、しかも低価格、そんな夢のような商品ができないものか…？MT-32は、そんなユーザーの夢をかなえてくれる画期的な音源として登場。
その後、楽器メーカー各社からマルチ・ティンバー音源が次々に発表され、音源そのものの標準化が叫ばれるようになった。
ローランドは、独自の共通音源仕様GSフォーマットを音楽、楽器業界だけでなく、マルチメディア市場にむけても提案している。

パーソナル・ミュージック・アシスタント PMA-5　1996

高品位音源、先進のアレンジャー、シーケンサー機能を超コンパクトなシステム手帳サイズに凝縮。タッチ・スクリーン採用で、市場に大旋風を巻き起こした。



サウンド・キャンバス SC-55　1991

GSフォーマット1号機。その高品位な音質、コンパクト・デザイン、コスト・パフォーマンスの高さで、大ヒット商品になった。



1987　MT–32

LA方式を採用しながら、ユーザーの使い勝手を優先させた音源モジュール。音楽演奏制作のみならず、DTMの世界でも定番音源となった。



GS フォーマット　1996

マイクロソフト社との技術提携により、ローランドGSフォーマットの世界はさらに広がりをみせ、すでに世界の標準となりつつある。

The V-Story

**最先端COSM（コンポジット・オブジェクト・サウンド・モデリング）技術の開発により、
ローランドは、電子楽器の新しい世界を切り拓いた。
Vシリーズの登場は驚きとともに迎えられ、爆発的なヒット商品となった。
ローランドのVストーリーは今、始まったばかり…。**

V·ギター・システム VG-8



1995 ローランド独自のCOSM思想、最新のDSPによるサウンド・モデリングが、ギターにずば抜けた演奏表現力をもたらした。あの懐かしいビンテージ・サウンドから未体験のサウンドまで。ギター、アンプ、そしてスピーカーのマイキングまであらゆるバリエーションで、ギタリストの求めるサウンドを実現する次世代のギター・システム。

V·スタジオ VS-880



1996 プロのCD制作に匹敵する高音質のミキシング、レコーディング、マスタリングを1台でこなすフル・デジタルのデジタル・スタジオ・ワークステーション。本格的なレコーディング・スタジオの全プロセスを自宅で可能にした画期的なデジタル録音機。発売直後から大きな反響を呼んだ。

V·ドラムス 1997

ローランドVシリーズの最新モデル。
COSMテクノロジーをベースにした新開発VDM
(Variable Drum Modeling)を採用し、素材ベース
からのドラムの音創り、エフェクト処理、トリガー・
レスポンスのすべてにおいて新しい基準を確立し、
新次元の表現力を提供。



● **使用する機器に制限されない真に自由な音創りのために…。誰も体験したことのない新たな表現の世界へ…。
「創造」「ベスト」「共感」。ローランドの歩みはまだまだつづく。**

History

1972

ローランド創立。第1号機リズム・マシンTR-33/55/77発表。

1973

浜松工場竣工。国産初のシンセサイザーSH-1000発表。
純電子式コンボ・ピアノEP-10発表。

1974

テープ式エコー・マシンRE-201発表、世界中で愛用された。
世界初のタッチ・センス付電子ピアノEP-30発表。

1975

一般家庭向けのローランドピアノ（HPシリーズ）発表。
世界初のコーラス効果搭載ギター・アンプ（JCシリーズ）発表。
現在も製造され、第一線で活躍しているロング・ヒット商品となる。

1976

オーストラリアに合弁会社設立。
国内初の大型システム・シンセサイザー、SYSTEM-700発表。

1977

浜松に高丘工場竣工。世界初のGRギター・シンセサイザー発表。
マイコンによるシンセサイザーの自動演奏分野で先駆けとなった、マイクロ・コンポーザーMC-8を発表。

1978

アメリカに合弁会社を設立。
オリジナルのリズムが作れるマイコン内蔵のリズム・マシンCR-78発表。

1979

ハンディ・タイプのリズム・マシン、ボスのドクター・リズムDR-55を発表。

1980

1曲分のリズムを自動演奏するリズム・コンポーザーTR-808発表。

1981

イギリス、ドイツ、デンマーク、カナダに合弁会社を設立。
8音ポリフォニック・シンセサイザーJUPITER-8発表。
国産初のデジタル・ディレイ、SDE-2000発表。レコーディング・スタジオの定番となった。

1982

ベルギーに合弁会社設立。
6音ポリフォニック・シンセサイザーJUNO-6発表。

1983

電子楽器の世界共通の規格、MIDIが誕生する。電子楽器の可能性を大きく拡げた。

1984

大阪・梅田にローランド・ミュージック・スクール開設。
シンセサイザーJUNO-106発表。

1985

東京・渋谷にローランド・ミュージック・スクール開設。
デジタル・リバーブSRV-2000、デジタル・ドラムのシステムを発表。

1986

静岡県引佐郡に細江工場竣工。
ニュージーランド、イタリア、台湾に合弁会社設立。
ピアノの音色を再現するためのSA合成方式を採用したRD-1000や新しいHPシリーズを発表。
また、DI方式を採用したローランド初のサンプラーS-10、S-50を発表。

1987

LA方式を採用したローランド初のフル・デジタル・シンセサイザーD-50発表、ベスト・セラーとなる。
オーケストラと電子楽器の共演「音楽の未来を探るコンサート」を開催する。

1988

アメリカにロジャース・インスツルメント・コーポレーションを発足。
ブラジル、スイスに合弁会社設立。
デスクトップ・ミュージック・システム「ミュージくん」発表。
イタリア生産によるシンセサイザーE-10、E-20発表。

1989

デスクトップ・ミュージック・システム「ミュージ郎」を発表。
ロジャースオルガンの国内販売開始。
12月、大阪証券取引所市場第2部に上場。

1990

シンセサイザーDシリーズ生産台数30万台突破。
花の万博（大阪）に大輪会の一員として参加。
RSS方式（Roland Sound Space）の実用化に成功。
浜松流通センター、浜松研究所完成。
ローランドピアノ・デジタルHP-3700、HP-2700、epシリーズ発表。
スペインに合弁会社設立。

1991

RSSプロセシング・システム発表。
ローランド浜名湖スタジオ完成。
ローランド・ブラジル・リミターダを設立。

1992

デジタル・グランドHP-7700発売。
創立20周年を迎え、「創造」「ベスト」「共感」で新たなスタート。

1993

本社を大阪市北区堂島浜に移転。
都田試験センター完成。

1994

財団法人ローランド芸術文化振興財団を設立。

1995

GS対応音源の世界セールス100万台突破。
ミュージック・ワークステーションXP-50を発表。
V·ギター・システムVG-8を発表。

1996

デジタル・スタジオ・ワークステーション「V·スタジオ」VS-880発表。
国際品質保証規格ISO9002を国内の楽器分野で初めて取得。
GSソフトウェア・シンセサイザー発表。
ローランド・ヨーロッパ（イタリアの合弁会社）、ミラノ証券取引所に上場。
米国マイクロソフト社へGS対応音色データ・セットをライセンス供給。

1997

Vシリーズの最新モデル、V·ドラムス発表。
創立25周年。ローランドの挑戦はまだまだ続く…。


REALTIME ARRANGER
DR-660/DR-550MKII
V-Guitar System VG-8
E-86
INTELLIGENT SYNTHESIZER
Roland
D-110
MULTI-TIMBRAL
MIDI SOUND
MODULE
Roland
D-50
LINEAR DIGITAL SYNTHESIZER
ROLAND
PIANO
DIGITAL
ローランドピアノ・デジタル
-24
Keyboard Pickup
SYSTEM 100
V-Studio
VS-880
Digital Studio Workstation
Roland
Roland
PMA-5
PERSONAL MUSIC ASSISTANT
Ensemble CE-1
Roland
Roland
Roland
Roland
RD-500
DIGITAL PIANO
The live performer's digital piano.
ROLAND
MIDI PERCUSSION
SYSTEM
PAD-MIDI INTERFACE PM-16
SNARE/TOM PAD CONTROLLER PD-31/PD-21
BASS DRUM PAD CONTROLLER PD-11
Roland
MT-32
MIDI
SOUND
MODULE
OD-2R
TURBO OverDrive
FS-5L
NAM-2899 '97 APR AE-3 IAC